

地方移住者の移住動機と移住前後の変化について —インタビュー調査をもとに—

安藤ゼミ 山口紗佳

目次

第1章 はじめに

第1節 研究の背景

第2節 研究の目的

第2章 調査方法

第3章 結果と考察

第1節 回答者の属性

第2節 地方移住の理由

第3節 移住前の心配と期待

第4節 移住後に不便に感じたこととよかったこと

第5節 移住前と移住後の精神面、価値観の変化について

第6節 都市部の魅力と地方の魅力

第7節 移住支援制度

第8節 移住者とのトラブル

第4章 全体的考察

第5章 総括

引用文献

参考文献

問題関心

内閣府(2020) 東京圏在住者の意識調査

➤ 地方での暮らしに関心 → 全体の50%弱

➤ 地方での暮らしを意識したきっかけ

「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」など

➤ 関心を持った地方の魅力

「山・川・海などの自然に溢れた環境」など

→ 地方移住者の実態を調査

研究の目的

- ① 何が地方移住の動機となりうるのかを明らかにすること
- ② 地方に移住する前後での生活の変化や精神面での変化、価値観の変化を明らかにすること
- ③ 都市部と地方の両方で生活をした地方移住者が感じる都市部の魅力と地方の魅力を明らかにすること

調査概要

- 対象者

都市部から地方に移住した人12名（男性6名、女性6名）

- データ収集の手続き

知人からの紹介、スノーボールサンプリング

- 調査方法

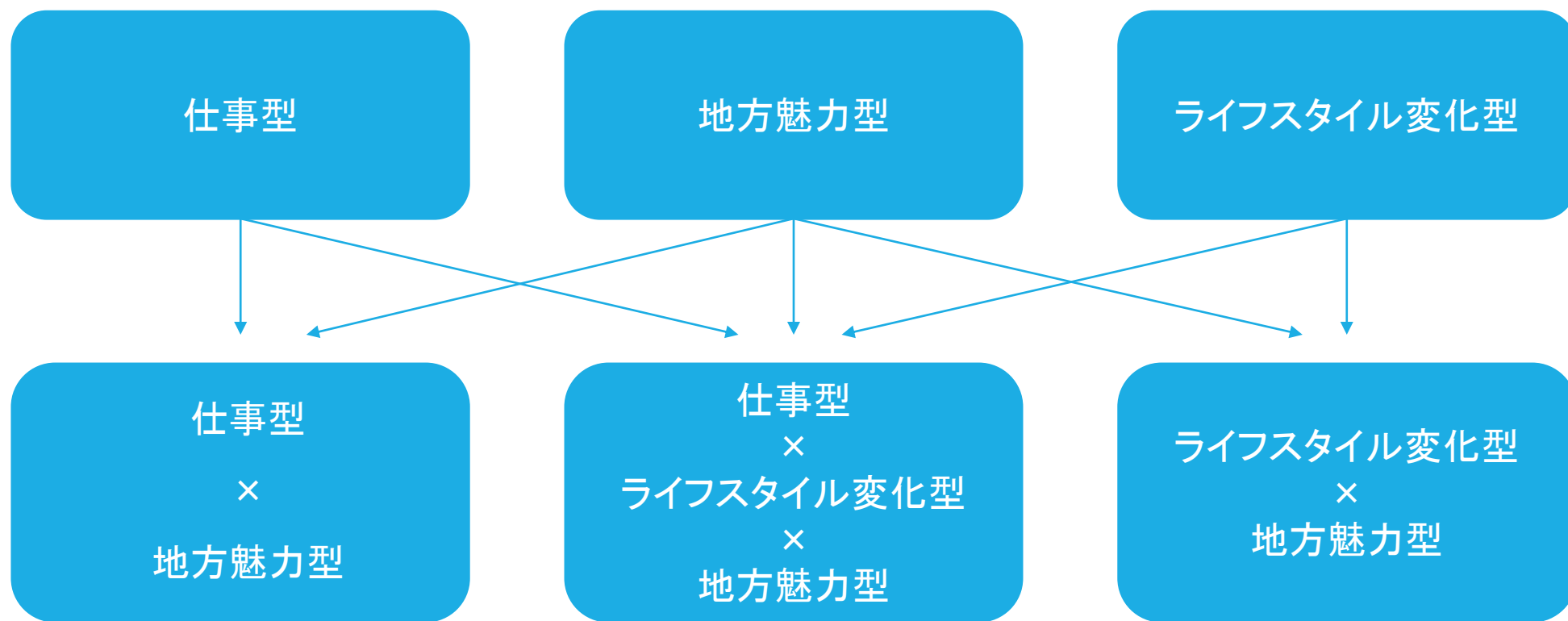
対面/Zoomでのインタビュー調査

半構造化面接法

回答者の プロフィール

年齢	職業	移住前→移住後
43	自営業	東京都→奈良県奈良市
22	会社員	奈良県奈良市→兵庫県淡路市
36	経営者・役員	茨城県守谷市→長崎県五島市
29	経営者・役員	東京都杉並区→沖縄県国頭郡恩納村
40	農家	兵庫県神戸市→長崎県五島市
65	経営者・役員	東京都世田谷区→奈良県奈良市
66	自由業	神奈川県相模原市→奈良県奈良市
24	会社員	茨城県つくば市→長崎県五島市
24	経営者・役員	愛知県名古屋市→長崎県五島市
51	薬剤師	兵庫県加古川市→長崎県五島市
32	市議会議員	千葉県船橋市→長崎県五島市
25	アルバイト	東京都世田谷区→長崎県五島市

結果①地方移住者の移住動機



回答例①(神奈川県相模原市→奈良県奈良市) ライフスタイル変化型×地方魅力型

「東京にいても顔を合わせて仕事をすることが少ないから、どこかへ行こうと思った。修学旅行で奈良に来たときにかっこいいと思った記憶があって、奈良に何回か来るうちに奈良がいいなとなった。春夏秋冬一ヶ月ずつ奈良に来てみたら、夏はそれほど暑くなくて、冬はそれほど寒くなかった。親の介護を東京のごちゃごちゃしたところではなく、ちょっと歩けば素敵な景色のあるような場所でしたかった。」

回答例②(愛知県名古屋市→長崎県五島市) 仕事型×ライフスタイル変化型×地方魅力型

「HafHという**定額の宿泊サービス**で五島拠点ができますという記事を偶然見て、ここに行ってみようと思った。五島に住んで、ワーケーションをしている間に気付いたことなどを、先に移住していた人と話していたところ、**一緒に仕事をしないか**となったのと、五島が**予想以上に暮らしやすかった**ので移住を決めた。」

結果②都市部の魅力



回答例(人 モノ 情報)

「情報が集まっている所に簡単に行けるところ。就活のイベントとかも困ったことがないですね。イベントものが詰まっている。人と情報が集まっている。そこが魅力だと感じます。」

結果③地方の魅力

自然

暮らしやすい
ところ

伝統
行事

時間

心の余裕が
できること

その他

回答例(その他)

「モノの本質を見ることができるようになる。東京は出来上がったものを見せられている感じがするが、地方で暮らしていると、もともとの形が見える気がする。人もそう。人って本来こうあるべき。優しさとか、迷子で泣いてる子がいたら助けてようと思うところなど。地方はほっとけない人が多い。都会にいたるときはちょっと外れている部分あった。人間としてちょっと駄目な部分あったなと思うことがあった。」

考察

地方移住者「人間らしい生活」の獲得

- 地方移住は、
ストレスフルな都市部での生活から脱却するための
有効な選択肢の一つ

ご清聴ありがとうございました。